

# 幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第1期）実績

（令和2年度及び計画期間通期）

## 【達成状況の評価について】

- 5：目標値を達成
- 4：目標値を80%以上達成
- 3：目標値を60%以上80%未満達成
- 2：目標値を40%以上60%未満達成
- 1：目標値の40%未満

※達成状況は、計画期間（平成27年度から令和2年度末まで）の各目標値に対する達成状況

## 基本目標1 安定した雇用を創出する

### 基本的方向

若い世代の就職に伴う転出に歯止めをかけるためには、市内での雇用機会を拡充することが必要です。このため、市内企業と連携し、安定した雇用の創出を目指します。また、市内の商工業を支えている中小企業に対して、企業競争力の向上や安定した経営の実現に向けた支援を行うことにより、地域経済の活性化を図ります。

### 数値目標

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
目 数 標 値	市内従業者数	18,379人	19,100人	- (平成26年度調査 結果 18,379人)	18,278人	- (平成28年度調査 結果 18,278人)	- (平成28年度調査 結果 18,278人)	- (平成28年度調査 結果 18,278人)	- (平成28年度調査 結果 18,278人)	4

## 施策1 産業団地進出企業との連携と市内事業者への支援

現在、圏央道（首都圏中央連絡自動車道）幸手インターチェンジ東側地区において、埼玉県企業局との共同事業により、幸手中央地区産業団地整備を進めています。この産業団地への立地企業と連携し、市民の雇用促進を図ります。また、既存の市内事業者及び新たに市内で起業する事業者に対しては、商工会と協力して、国・埼玉県の制度等を有効に活用し、経営力向上への支援をします。

### 重要業績評価指標（KPI）（「様式2」より抜粋。以下、同じ。）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	幸手中央地区産業団地内における従業者数	-	700人	-	-	300人	604人	588人	652人	4

### 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
幸手中央地区産業団地立地企業への奨励措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採業を開始した企業に対し奨励金を交付した。</li> <li>・施設設置奨励金 6社</li> </ul>	採業を開始した企業6社には奨励金を交付した。これから採業する企業に対しては、奨励金制度を周知していくことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸手中央地区産業団地企業誘致条例に基づき、対象企業に施設設置、雇用促進、障がい者雇用促進、水道加入分損金相当額奨励金の周知を行っていく。</li> </ul>

## 施策2 市内雇用の促進

若者などの雇用の定着を促すとともに、女性や高齢者など働く意欲の高い人への就職を支援し、市内における雇用の拡大を図ります。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	就労支援セミナー・相談会の実施回数	-	累計5回	-	県と共催 3回 国と共催 2回 (累計5回)	県と共催 2回 国と共催 14回 (累計21回)	県と共催 1回 国と共催 14回 (累計36回)	国と共催 10回 (累計46回)	国と共催 4回 (累計50回)	5

## 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
就職希望者へのハローワーク（公共職業安定所）や埼玉県など関係機関と連携した求人情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>「幸手市ふるさとハローワーク」により、就業相談や求人等に対する支援が図られた。</li> </ul>	平成29年2月1日に「幸手市ふるさとハローワーク」を設置することが決まり、相談員が常駐し、就職活動に関する相談や、仕事の紹介を行っている。数値目標が下回らないように、連携しながら事業を実施していくことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「幸手市ふるさとハローワーク」と連携し、求人等の情報提供などに努める。</li> </ul>

## 施策3 地域農業の振興

農業経営に対する支援、後継者の育成・支援、新たな担い手の育成など、安定して農業が続けられる基盤を整えます。また、幸手産特別栽培米を積極的にPRしていくとともに、幸手産農産物を活用した付加価値の高い農産加工品の研究開発を支援します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
K P I	認定農業者数	23経営体	30経営体	25経営体	28経営体	30経営体	34経営体	30経営体	33経営体	5
K P I	特別栽培米作付面積	2,984a	3,350a	3,368a	3,762a	3,632a	4,201a	2,396a	2,081a	4

## 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
ふるさと納税の返礼品として幸手産特別栽培米を活用してPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>市外に住所を有するふるさと納税寄附者に対し、幸手産特別栽培米コシヒカリを返礼品として贈呈した。</li> <li>特別栽培米コシヒカリと他の品種を併せて返礼品として提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幸手産特別栽培米コシヒカリを返礼品として贈呈し、「幸手産米」の認知度の向上に寄与した。また、特別栽培米コシヒカリと他の品種と合わせて返礼品として、米どころ幸手市をPRした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税寄附者に対し、引き続き返礼品として幸手産コシヒカリをはじめとする幸手産米を用意し、ふるさと納税の機会を通じてPRを実施していく予定であるが、米の数量等返礼品の内容をどのようにするか課題である。</li> </ul>

## 基本目標 2 新しいひとの流れをつくる

### 基本的方向

市内には、権現堂堤や日光街道幸手宿をはじめ、さまざまな観光・歴史・文化資源があります。これらの資源を有機的につなげることにより、幸手市を訪れた人が、まちなかの回遊を楽しむことができる基盤を充実させ、交流人口の増加を目指します。また、定住促進に向けて、「市の顔」である駅舎の整備や、市の魅力を広く発信できるシティセールス等を推進します。

### 数値目標

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
目 数 標 値	権現堂年間観光客数	188.5万人	195万人	210.1万人	181.1万人	201.2万人	224.8万人	207.9万人	50.8万人	4

### 施策 1 幸手市の特性を活かした観光振興

主要な観光資源である権現堂堤、市営釣場（神扇池）、権現堂調整池（行幸湖）や日光街道幸手宿などの市内の名所、史跡と商店街、公園、幸手駅などを結ぶ観光ルートを有機的につなげ、交流人口の増加を目指します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
K P I	観光協会ホームページアクセス数	59.8万件	65万件	65.2万件	82.8万件	87.3万件	65.5万件	76.2万件	22.8万件	5

### 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
物産振興の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ということもあり、ハッピーエールプロジェクト支援事業で、市内事業所の感染防止対策および商品やサービスのPRを実施した。</li> </ul>	商業・工業・農業等の視点から、アイデアを出し合い引き続き模索していくことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土産品、食べ物、グルメなどのブランドに認定制度について検討する。</li> </ul>

## 施策2 駅周辺の整備

市の玄関口にふさわしい街並みを形成し、市のイメージアップを図るため、東西自由通路の整備に伴う幸手駅の橋上化や幸手駅西口土地区画整理事業地区内の整備を推進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	東西自由通路及び幸手駅舎の整備進捗率	1.8%	100%	2.43%	15.15%	22.64%	96.40%	100%	100%	5
KPI	幸手駅西口土地区画整理事業の整備進捗率	2.3%	33.6%	4.93%	8.51%	19.01%	29.91%	34.23%	38.23%	5

### 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
幸手駅西口土地区画整理事業地区内の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>幸手駅西口土地区画整理事業の啓発のため、「まちづくり物語」を作成し、権利者に進捗状況等を周知した。</li> <li>区画道路等の整備により、移転となる建築物等の補償契約を行った。</li> <li>区画道路等の整備により、移転となる建築物等の移転先の宅地造成工事を行った。</li> <li>翌年度に補償対象となっている建築物等の調査積算を行い、補償交渉に向け準備した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西口駅前広場及び都市計画道路西口停車場線等の幸手駅西口までのアクセス道路が整備されたことにより、地域の利便性、快適性の向上が図られた。</li> <li>区画道路の一部が整備されたことにより、地域の安全性の向上が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅が比較的密集した既存市街地における土地区画整理事業であるため、多くの地権者の方が玉突き移転となり、事業進捗に時間を要する。</li> <li>今後、西口停車場線の整備を優先して取り組んでいく。</li> <li>令和3年度は、道路整備や宅地造成の対象となる土地の仮換地指定、建築物等の補償、工事を順次行う。</li> </ul>

## 施策3 移住・定住の促進

市内への定住促進を図るため、親・子・孫からなる3世代の同居・近居の支援や住宅リフォームの支援をします。また、利活用可能な空き家の登録・情報提供を行う、空き家バンクを設置します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	しあわせ3世代ファミリー定住支援事業の利用者	-	累計18人	9人	7人 (累計16人)	12人 (累計28人)	10人 (累計38人)	7人 (累計45人)	8件 (累計53人)	5

## 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
3世代ファミリーの定住支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>3世代ファミリー定住支援事業補助金の交付</li> <li>3世代ファミリー定住支援事業のリーフレットを作成し、公共施設、不動産会社等で配架、配布、事業の周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレット、ホームページ、広報紙を活用し制度周知に取り組み、平成27年度から令和2年度の間に53件の申請及び交付決定を行い、定住支援を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請人数が平成30年度から減少傾向であり、今後の事業内容及び、事業の周知方法について検討する必要がある。</li> </ul>

## 施策4 シティセールスの推進

幸手市の魅力を広く市内外に発信し、「幸手を知ってもらおう」、「幸手に来てもらう」ことにより、交流人口や定住人口の増加を目指します。また、市民には、幸手を「もっと」知ってもらうことにより、地域への愛着を深め、定住化を促進します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	人口の社会動態の減少数	274人	137人	93人	24人	145人	214人	94人	186人	5
KPI	市ホームページの年間アクセス件数	178,696件	190,000件	238,435件	199,987件	172,326件	252,303件	618,906件	619,886件	5

## 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
ホームページ等を活用したシティセールスの推進	ホームページの情報をアプリによって配信したほか、市公式SNSにて、情報発信を行った。	ホームページの発信を強化し、またSNSも活用して市の魅力を発信した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツールやコンテンツごとの強み・弱みを研究し、活用方法の検討が必要。</li> </ul>

## 基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### 基本的方向

子育て世代の定住化を促進するとともに、合計特殊出生率を高めることにより人口の自然増を実現するためには、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることができる環境を整える必要があります。

そのため、結婚から子育てまで切れ目のない支援を行い、質の高い子育て環境・教育環境等を提供することにより、「子育て日本一」の自治体を目指し、若い世代の定住を促進します。

### 数値目標

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
目 数 標 値	合計特殊出生率	1.06	1.21	1.16	0.97	0.98	0.83	0.97	— (令和3年度末公表予定)	1

### 施策 1 出会いの機会の創出

若い世代の結婚の希望をかなえるため、市の地域資源を有効に活用した婚活交流イベントを開催し、男女の出会いの場を提供します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
K P I	カップル成立数	—	累計21組	5組	3組 (累計8組)	3組 (累計11組)	8組 (累計19組)	13組 (累計32組)	0組 (累計32組)	5

### 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
婚活交流イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は結婚支援に係る協定を締結した3市3町による事業を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント実施には至らなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市主催の婚活イベントを3回（平成29年度～令和元年度）、婚活セミナーを1回（平成30年度）実施し、独身男女の結婚を支援することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市主催の婚活支援事業は、男性に比べて女性の申込が少ない。</li> <li>近隣市町で連携し広域的な結婚支援事業を展開するため、結婚支援に係る協定を締結した3市3町による事業を実施するとともに、「SAITAMA出会いサポートセンター」を活用し、若い世代の結婚の希望をかなえる機会を増やしていく。</li> </ul>

## 施策2 産前・産後等のサポート体制の充実

安心して子どもを産み育てることができるよう、産前・産後等のサポート体制の充実を図ります。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	赤ちゃん訪問の実施率	94.5%	100%	93.8%	96.6%	97.6%	96.7%	94.7%	97.4%	4
KPI	不妊治療助成申請者数	-	累計150組	17組	32組 (累計49組)	25組 (累計74組)	29組 (累計103組)	30組 (累計133組)	25組 (累計158組)	5

### 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
母親学級、両親学級の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間2コース実施。参加者数延べ66人だった。</li> <li>沐浴の動画をホームページに載せた。</li> </ul>	令和2年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、限定的な開催となったが、沐浴動画をホームページに載せ、家族で出産準備ができるよう工夫した。今後も、子育て世代の不安の軽減のため、時勢に合わせて、実施していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き効果的に事業を推進していく。</li> </ul>

## 施策3 子育てしやすい環境の整備

女性の働き方やライフスタイルの変化に対応できるよう、子育てしやすい保育環境の整備を行います。また、保護者が子育てに対して抱える不安や負担を少しでも和らげるよう、子育てにかかる負担を軽減します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	保育所待機児童	0人	0人	7人	11人	3人	0人	0人	0人	5
KPI	防災士資格を取得した保育士数	-	6人	10人	0人 (累計10人)	0人 (累計10人)	0人 (累計10人)	1人 (累計11人)	0人 (累計11人)	5
KPI	発達気になる子に対応した加配保育士の配置	-	3人	8人	4人	3人	4人	3人	2人	5
KPI	保育の提供体制の整備	370人	463人	370人	463人	463人	463人	523人	523人	5
KPI	保育ステーションの設置数	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	1

## 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
学校給食費（2人目以降）の補助	・市内小・中学校および特別支援学校に通う2人目以降の給食費補助の実施。 補助額 19,069,895円（727人）	給食費補助により子育て支援を推進することができた。	・令和3年度についても同様に事業を実施する予定。

## 施策4 教育環境の充実と学力の向上

学校教育環境の整備を行うことで、児童・生徒の自ら学ぶ意識が高いまちを目指すとともに、働く保護者を支援するため、放課後児童クラブ室の充実を図ります。平成29年度には、市内全小学校区に放課後児童クラブ室を開設します。

また、基礎・基本の指導の充実により、学力向上を図ることで、市外の人からも「幸手市での教育」を選んでいただけるような教育を推進します。

## 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI	当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI 放課後児童クラブ室の開設	7箇所	11箇所	7箇所	9箇所	11箇所	11箇所	11箇所	11箇所	5
KPI さってアフタースクール開催回数	-	累計500回	279回	527回 (累計806回)	545回 (累計1,351回)	486回 (累計1,837回)	450回 (累計2,287回)	418回 (累計2,705回)	5
KPI さってアフタースクール参加人数	-	累計10,000人	3,317人	14,403人 (累計17,720人)	12,034人 (累計29,754人)	8,397人 (累計38,151人)	11,503人 (累計49,654人)	9,752人 (累計59,406人)	5

## 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
ICT環境の整備	・論理的な思考を育むために必要なプログラミング教育用ソフトを整備した。 ・GIGAスクール構想の実現のため、全校に高速大容量通信に対応した校内LAN環境を整備するとともに、児童・生徒1人1台のタブレット端末を整備した。	時代に即応した教育ICT環境を整備することができた。	・タブレット端末を活用した協働的な学びや、2024年度から本格導入されるデジタル教科書を最大限に活用するため、大型提示装置の整備が必要である。 ・教育ICT機器の運用やトラブル対応による教員の負担を軽減するため、ICT教育支援員の配置が必要である。

## 基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

### 基本的方向

だれもが安心して居住することができるまちとするため、交通利便性の向上や地域医療体制の充実、市民が主体となる地域課題の解決に向けた協働の取組への支援、地域間連携を図ることにより、まちの活性化を目指します。

また、高齢化の進行に対応するため、高齢者がいつまでも生きがいを持ち、心身ともに安心して暮らすことができるよう健康づくりを支援するとともに、地域体制を整備します。さらに、今後、予想される人口減少を見据え、公共施設のあり方を検討していきます。

### 数値目標

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
目 標 値	幸手市に住みやすいと思う市民の割合	60.9% (平成24年度)	70%	-	-	69.1%	- (平成29年度 調査結果 69.1%)	- (平成29年度 調査結果 69.1%)	- (平成29年度 調査結果 69.1%)	4

### 施策 1 交通利便性の向上

圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の開通及び幸手インターチェンジの開設により、市内の道路交通の利便性は向上しています。今後も、道路交通や鉄道、バスなどの公共交通機関の利便性を高め、市内外に円滑に移動できるまちを目指します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
K P I	市の公共交通の満足度	24.5% (平成24年度)	30%	-	-	6.6%	- (平成29年度 調査結果 6.6%)	- (平成29年度 調査結果 6.6%)	- (平成29年度 調査結果 6.6%)	1
K P I	都市計画道路整備率	58.3%	79%	60.9%	61.3%	61.3%	62.0%	62.4%	64.8%	4

## 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
路線バスの路線・本数拡充の要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通会議を定期的に行い、各公共交通機関の意見聴取に努めた。</li> <li>民間バス会社との協議・要望の結果、幸手駅西口から久喜駅東口までの路線バスが令和2年5月1日から運行開始となった。</li> </ul>	毎年数回公共交通会議の開催し公共交通機関と意見交換を行った。民間バス会社との協議・要望の結果、幸手駅西口から久喜駅東口までの路線バスが令和2年5月から運行開始となった。今後も市民の要望を実現するため、公共交通機関と意見交換等が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年開催される地域公共交通会議を通し、市民の要望を伝えていく。</li> <li>杉戸高野台駅から日本保健医療大学までのルートについてウェルス幸手までの延長など、今後も引き続き民間会社へ要望していく。</li> </ul>

## 施策2 地域医療体制の充実

市内の多様化する医療ニーズに対応できるよう、医師会などの関係機関と協力し、医療体制の充実を図ります。また、「とねっと」（埼玉利根保健医療圏における地域医療圏ネットワークシステム）を活用し、医療資源の効率的な運用を目指します。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	とねっとの登録者数	2,326人	4,000人	2,830人 (H28.3.31現在)	3,090人 (H29.3.31現在)	3,283人 (H30.3.31現在)	3,739人 (H31.3.31現在)	4,002人 (R2.3.31現在)	4,153人 (R3.3.31現在)	5

## 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
救急医療体制（夜間・休日）の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次救急医療として幸手市、杉戸町在宅当番医制による休日診療の実施。</li> <li>ゴールデンウィークなど大型連休における休日診療の実施。</li> <li>幸手市冬期休日夜間診療の実施</li> <li>2次救急医療として、県東部北地区（6市2町）の病院輪番制による夜間・休日診療の実施</li> <li>母子事業における小児に対する適正医療に関する普及啓発</li> </ul>	1次救急医療として幸手市と杉戸町が協力することにより小規模広域行政として在宅当番医制の事業を実施することができた。同様に中規模広域行政として、県東部北地区（6市2町）を中心に、2次救急医療として病院群輪番制による夜間・休日診療事業を実施した。両事業とも、地域の医師会のご協力が円滑に事業を行えた要因となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次救急医療の担い手である輪番病院に搬送される患者が増加し、輪番病院への負担増大や勤務医の疲弊等が心配されている。また、搬送された半数は軽症であり、適正受診の普及啓発が必要。</li> <li>輪番病院の負担軽減・救急医療全体の機能維持が課題。</li> </ul>

## 施策3 高齢者の生きがいつくりと連携体制の充実

高齢化が急速に進行する中、高齢者がいつまでも生きがいを持ち、心身ともに健康で安心して暮らせるよう、健康づくりや生きがいつくりを支援します。

また、地域包括ケアシステム（高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して生活を続けられるように、高齢者のニーズや状態に応じ、医療や介護、見守りなどの多様

なサービスが包括的に提供される地域での体制)の構築を推進し、地域での見守り体制を充実します。

### 重要業績評価指標 (KPI)

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	生きがいがあると思う高齢者の割合	84.1%	90%	-	62.50%	- (平成28年度調査結果 62.5%)	- (平成28年度調査結果 62.5%)	61.4%	- (令和元年度調査結果 61.4%)	3

### 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括(平成27年度～令和2年度)	今後の取組(問題点、課題を含む)
健康ポイント事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度健康マイレージ新規参加者153人</li> <li>累計参加総数1737人(令和3年3月末日現在)</li> <li>令和2年度市独自ポイント達成者361人。うち、景品(特別栽培米)発送者40人。</li> </ul>	<p>課題として令和3年度までに参加者2,000人を目指すとしていたが、新規参加者数が年々減少してきている。コロナ禍により健康づくりイベントの開催ができず、アピールの機会が減っていることが一因と考える。イベント以外でも参加者を増やす方法を模索していくことが必要である。また、令和2年度は歩数報告のない幽霊会員へ活用を促す通知を発行した。今後も対策を実施していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き累計参加総数2,000人をめざす。</li> </ul>

## 施策4 地域のコミュニティの活性化・防災防犯体制の強化

高齢化の進展や災害への対応など、今後、地域での助け合いが求められる局面がますます増加していくと予測されます。このため、少しずつ希薄化している地域コミュニティの活性化を図るとともに、市民による自助・共助を通して、地域での防災活動や防犯活動が充実し、安心して暮らせる体制づくりを推進します。

### 重要業績評価指標 (KPI)

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	自主防災組織の組織率	55%	65%	58%	58%	60%	60%	62%	63%	4
KPI	全避難所への授乳テナントの備蓄	-	27箇所	27箇所	27箇所	27箇所	27箇所	27箇所	27箇所	5
KPI	防災訓練の参加者数	648人	累計2,500人	H27実績456人 (累計456人)	H28実績399人 (累計855人)	H29実績0人 (累計855人)	H30実績329人 (累計1,184人)	R1実績0人 (累計1,184人)	R2実績0人 (累計1,184人)	2

### 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括(平成27年度～令和2年度)	今後の取組(問題点、課題を含む)
防災士資格の取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>4人の市職員が防災士の資格を取得した。</li> <li>自主防災組織の6人が防災士の資格を取得した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>38人の市職員が防災士の資格を取得した。</li> <li>自主防災組織の20人が防災士の資格を取得した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き防災士の資格取得者を増やしていく。</li> <li>2日間の講習のため、自主防災組織で防災士の資格を取得できる人が限られてしまう。</li> </ul>

## 施策5 公共施設アセットマネジメントの推進

今後、予想される人口減少を見据え、公共施設の機能の見直しや再編・集約など、時代の変化に応じたあり方を検討していきます。

### 重要業績評価指標（KPI）

数値目標・KPI		当初値	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成状況(通期)
KPI	公共施設等総合管理計画の策定	-	策定 (平成28年度)	-	策定済	策定済 (平成28年度)	策定済 (平成28年度)	策定済 (平成28年度)	策定済 (平成28年度)	5

### 主な取組内容

取組内容	令和2年度取組実績	総括（平成27年度～令和2年度）	今後の取組（問題点、課題を含む）
公共施設等総合管理計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度に幸手市公共施設等総合管理計画を策定した。</li> <li>幸手市公共施設等総合管理計画を踏まえ、令和2年度に幸手市公共施設個別施設計画を策定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度に幸手市公共施設等総合管理計画の策定、令和2年度に幸手市公共施設個別施設計画を策定し、アセットマネジメントの推進が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幸手市公共施設個別施設計画に基づき各施設を管理してPDCAを遂行することにより、その状況に適した管理をしていく必要がある。</li> </ul>